

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	うらら		
○保護者評価実施期間	令和6年 12月23日	～	令和7年1月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 14	(回答者数)	10
○従業者評価実施期間	令和7年1月6日	～	令和7年1月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 12	(回答者数)	12
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月21日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもが安心感をもち通所を楽しみにしている	スタッフ間で話し合いながら活動を検討している。 外活動では、公園で遊びだけでなく、川遊びやウォーキングなど季節に応じた活動を取り入れている。室内活動・外活動を通して生きる力を育むことを目指している。	来年度より、地域の学校に通っているいる子どもが増える。 支援方法についても研鑽していく必要がある。
2	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がされている	日々の援助記録記録で子どもの姿を共有している。相談を受けた際には、随時アドバイスを行っている。 活動の様子はホームページやSNSを活用し、写真を通して様子を伝えている。	計画相談員とも連携し、状況共有に努める。 今年度はスタッフとご家族の交流の場をもった。この機会の活用方法を検討する。
3	スタッフの資質向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されている	全職員が外部研修受講している。 言語聴覚士のスタッフによる社内研修も実施している。	スタッフの資質向上を図るよう、引き続き、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会を確保し研鑽していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	避難訓練の実施状況のご家族への周知方法	避難訓練の実施日に利用していなかった子どもには実施したことが伝わりにくい	SNS等で訓練の様子を伝えているが、周知の方法には検討が必要 四季ごとにご家族に配布するお知らせの中に避難訓練の実施予定も記載し周知する
2	保護者同士やきょうだい同士の交流の場について	子どもの年齢も幅広い中で、ご家族がご家族同士の交流の場を必要としているかは不明である	今年度は、スタッフとご家族の交流の場として【うららツアー】を開催した。ご家族のニーズに合わせて交流の場の工夫を検討する。
3	各種マニュアルをご家族に最初の契約時に説明・配布しているがその周知方法	啓発・周知の方法の検討に工夫が必要	啓発・周知の方法を検討する。 適宜、内容に変更があれば周知・丁寧な説明を心がける